

2026.05.15

損害保険ジャパン株式会社

団体・公務開発部 第二課

## 2026 年度\_第 2 回 JIA 建賠 WG 資料

### 1 .JIA 建築家賠償責任保険（ケンバイ）制度の概要【資料：別紙 1 ケンバイ基礎資料】

- (1) .建築家賠償責任保険で対象となる業務
  - ・全体構成（基本補償とオプション）と補償内容
- (2) .現在の加入状況
  - ・設計・監理料と加入タイプ、オプション加入率等
- (3) .JIA ケンバイの特徴
  - ・3つの取組（建賠 WG、審議会、図解事故例集）

### 2. ケンバイ制度の更なる理解・浸透（加入者拡大）に向けた取組

#### (1).3 団体制度との保険料比較分析【資料：別紙 2 団体制度比較】

#### (2).4 月 MTG 時のご意見・指摘事項

#### →①若手建築家へのアプローチ【資料：別紙 3 ジュニアプランちらし】

##### ◆意見交換のポイント

＞JIA ジュニア会員のケンバイ加入状況をふまえ、現在取組が十分でないジュニア会員へ今後どのようなアプローチが考えられるかを検討したい

2026 年 1 月 5 日時点 JIA 会員：3,519 名 内、ジュニア会員：171 名  
171 名の内、JIA ケンバイ加入：52 名（加入率 30.4%）⇒未加入：119 名  
＜内訳（仮定）＞  
◎33 名(会員名≡事務所名)：アトリエ系事務所を開設した若手建築家  
⇒ケンバイ募集対象？  
△86 名(不明)：一定規模の中小事務所に所属(所員)、県や大学に勤務  
\* 現在ジュニアプラン加入者 0 件

#### ②分かりやすいパッケージ補償プランの検討【資料：別紙 4 モデルプラン案】

##### ◆意見交換のポイント

＞これに入ったら安心と思えるプラン設計（基本＋オプションを包括補償）の検討  
・基本補償にどこまでのオプションを含めた包括化が実効的かについて、加入者のニーズ、保険設計上の課題等の観点から検討を行いたい

③その他の改善要望（アンケート結果分析の深掘り）

<1>現在の懸念事項について【資料：別紙5 アンケート問4（懸念事項）】

<2>ご質問・ご要望について【資料：別紙6 アンケート問5（質問・要望）】

◆意見交換のポイント

<1>懸念事項から見えることや気が付いたことは何か？

<2>質問と要望をいただいた生の声（改善・照会・保険料）への対応

改善：今後のケンバイ制度の改定のうえで検討すべき内容はないか、他

照会：Q&A への反映やケンバイチラシでのアピール等の工夫、他

保険料：保険料（基本補償部分）の見直し、他

(3).JIA 会員のリスクマネジメントスキルの向上に向けた取組

【資料：別紙7 建築設計事務所のリスクマネジメント実践講習(仮称)】

リスクマネジメント講習の構築を検討したく、その経緯と趣旨は以下のとおりです。

ケンバイ勉強会開催時のアンケート要望および意見交換の際のご意見から、建築事務所(アトリエ系事務所)におけるリスクマネジメントスキルの向上は多くの会員(特に事務所経営者)が必要と考えているものの、体系的な理解および従業員への教育が十分でないのが実態ではないかと推察いたします。約 20 年前に JIA では建築事務所の経営全般を学ぶコース(プロフェッショナルスクール)があり、大変好評を博した取組であったと伺っています。今回は、建築事務所を取り巻く環境が大きく変化しているなか、組織運営上でリスクマネジメントに対する理解とその実践の重要性は高まっていることをふまえ、リスクマネジメントの初歩の理解と日常業務での活用にフォーカスした内容を体系的に学べる講習を損害保険会社の支援をいただいて構築できればと考えております。

本コースはアトリエ系建築事務所に焦点をあてた内容ではありますが、基本的な考え方は事業に関わるすべての方に必要な共通のマネジメントスキルと考えています。

本件、JIA 会員のリスクマネジメントスキル向上の一助となる講習として構築したく、ケンバイ WG での本年度取組の一つとして皆さまからのご意見をもとに検討・協議を行って作り上げていければ幸いです。

3. ケンバイ年間取組 【資料：別紙8 ケンバイ年間アクションシート】

(1).勉強会開催

(2).建賠 WG 打ち合わせスケジュール

以上